

令和4年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(国語)

准教授 宮田 航平

取組状況

教育	<p>1. 小テストとスピーチ・口頭発表の実施 「国語Ⅰ」の授業において、定期的に小テストを実施することで、第1学年の学生が物事を理解・表現するのに必要な語句の定着を図った。またスピーチや口頭発表の機会を設けることで、話し言葉の特徴や役割を実践的に理解し、従来の「国語」の授業で不足しがちであった「話すこと」に関わる言語表現力を養成した。</p> <p>2. AL教材の開発と授業実践 「国語Ⅰ」「日本語表現法Ⅰ」の授業において、シラバスに記載した到達目標を達成するために、能動的な学習を促すためのワークシートを作成し、個人やペア、グループでの活動を行った。国語に苦手意識を持つ学生でも段階的な理解が得られるよう、発問や助言にも工夫を凝らした。またワークシートで学習状況を把握し、学生の理解度を確認することで、適切な課題を設定した。</p>
研究	<p>1. 「あまんきみこにとって「資料」とは何か——「現代児童文学」を語るために——」(日本児童文学学会第61回研究大会、宮城教育大学、2022年11月20日)</p> <p>2. 共著『日本の文学者18人の肖像[現代作家編]』(あすなろ書房、2022年12月)</p> <p>3. 「あまんきみこにとって「資料」とは何か——「現代児童文学」を語るために——」(『児童文学研究』2023年3月)</p> <p>4. 「『ある日ある時』に「中国の大連」が語るもの——『あるひあるとき』(あまんきみこ文・ささめやゆき絵)論——」(『国語教育史研究』2023年3月)</p> <p>5. 「『あるひあるとき』論の余白に——絵本・「ひとしづく」・資料調査」(『あまんきみこ研究会会報』第3号、2023年3月)</p> <p>6. 共著『新文学国語』(三省堂、2023年3月)※国語検定教科書</p> <p>7. 共著『新文学国語 指導書』(三省堂、2023年3月)</p> <p>8. 日本学術振興会科学研究費助成事業「戦後児童出版メディアにおける「童話」の編成——戦前・戦中期との関わりから」(若手研究、2020～2024年)研究代表者</p> <p>9. 日本学術振興会科学研究費助成事業「国語科教育における「近代童話／童謡」の再評価と新教材の発掘をめぐる調査研究」(基盤研究(C)、2022～2026年)研究分担者</p>
社会貢献	<p>1. OPC小中学生対象講座「中学生のための小論文講座」(企画・講師、全2回、2022年8月)</p> <p>2. 日本児童文学学会(運営委員)</p> <p>3. あまんきみこ研究会(会計・会務委員)</p> <p>4. 国語教育史学会(運営委員)</p> <p>5. 三省堂高等学校国語教科書編集委員会(編集委員)</p> <p>6. 東洋大学・國學院大學・山梨県立大学非常勤講師 (「児童文学」「国語科教育論Ⅰ・Ⅱ」)</p>